

診療科/曜日	月	火	水	木	金	土・日
内科	7番	(一般内科・神経内科) 鎌田	(一般内科・神経内科) 西山	(一般内科・神経内科) 福徳	(一般内科・神経内科) 石川	(一般内科・呼吸器) 金井
	8番	(一般内科・呼吸器) 白井	(一般内科・呼吸器・アレルギー) 早川	(一般内科・呼吸器) 永福(建)	(一般内科・呼吸器・アレルギー) 早川	(一般内科・呼吸器) 白井
	11番	(一般内科・呼吸器) 藤田	(一般内科・呼吸器) 金井	(一般内科・糖尿病) 永福(未)	(一般内科・糖尿病) 井本	(一般内科・消化器) 森
	12番	(一般内科・呼吸器) 伊藤	(一般内科・呼吸器) 大場			(一般内科・呼吸器) 三輪
	13番		(一般内科・腎臓) 磯部		(一般内科・循環器) 佐藤	
	初診	金井/大場 福徳・永福(未)	藤田/三輪・鎌田	藤田/大場 福徳・石川	白井/岩泉・西山	井本・岩泉/伊藤
小児科	(小児一般) 竹内	(小児一般) 豊田	(小児一般) 竹内	(小児一般) 豊田		
泌尿器科 (一般泌尿器・腎不全) 再診のみ			受付12:30~16:00 再診のみ 杉山			
児童精神科 初診・再診とも [完全予約制]です。	1 (51番)		山村	山村		
	2 (52番)		藤江(小)	高貝	藤江(小)	
	3 (53番)	矢野			矢野	
	4 (55番)		櫻井			櫻井
眼科 第1木曜日のみ				受付13:30~16:30 田邊		
皮膚科 毎週水曜日のみ			受付8:30~11:00 再診のみ 池谷			

*泌尿器科及び皮膚科は再診患者様のみです。
*児童精神科を初めて受診される方は、事前に電話予約が必要となります。


各種相談担当医一覧表

相談区分	実施日	相談内容	担当者
禁煙外来	毎週木曜日 (午後)予約制	・禁煙希望患者様に対し、禁煙までの診療指導。 (内科外来にて予約受付いたします。)	呼吸器・アレルギー科 医師
もの忘れ外来	毎週月曜日 (午後)予約制 (初診のみ)	・認知症の早期診断と治療 (内科外来にて予約受付いたします。)	第一診療部長 石川邦子 神経内科医長 鎌田 皇 神経内科医長 西山治子
アレルギー外来	毎週月曜日 (午前)予約制 (初診のみ)	・喘息疾患の診断と治療 (内科外来にて予約受付いたします。)	呼吸器・アレルギー科 医師
乳児健診	月、木(午前中)	・乳児健診(静岡県母子保健事業にかかる) 4ヶ月、10ヶ月健診。	小児科医長 豊田 敦
予防接種	毎週月曜日 (午前)予約制	・四種混合、麻疹、風しんなどの定期予防接種の実施。	小児科医長 豊田 敦
医療相談	月~金曜日	・医療費の支払、各種健康保険の手続き、障害者申請の方法。 ・療養や社会復帰の際の心配ごと等の相談。	医療社会事業専門員 椋本 美穂
栄養相談	月~金曜日	・食事療法の具体的な方法、生活習慣病予防のための食事の献立。 ・食物の栄養やカロリー等の説明や相談。	管理栄養士 石原 詠子、折戸 秀行 三村 直希

*希望される方は、医事係受付までお問い合わせ下さい。(平日の8時30分から17時15分まで)

予約検査一覧 ①消化器内視鏡・胃透視・注腸造影 ②気管支鏡 *検査は受診のうえ、予約が必要です。

280人
これは2015年浜松市にて熱中症患者速報に報告された数です。65才以上の高齢者の男性が多く、また意外にも屋外よりも家の中で発症されている方が多くみられています。原因ははっきりしませんが、市内では浜北区の罹患率が最も高くなっていますのでご注意ください。
今回のかがやきでは 呼吸器アレルギー科、1病棟の紹介、飛竜まつり、新人看護師、出張出前講座、糖尿病教室について取り上げました。お気楽にお楽しみください。



国立病院機構 天竜病院

浜松市浜北区於呂4201-2 TEL(053)583-3111(代) FAX(053)583-3664



かがやき

vol.67
2016.7月発行
http://tenryu-hosp.jp/

「七つのまちがい探し」



※解答は中面をご覧ください。

重症心身障がい児・者の皆さまの短期入所事業を行っています。

当院では、重症心身障がい児・者病棟(1・2病棟)で短期入所事業を行っています。ご家族のご都合でご本人のお世話が難しいときや、ご家族が休息をとられるときに、ぜひご利用ください(短期入所の利用は予約制となります)。
ご利用には、障がい福祉サービス受給者証が必要です。また、先に当院の外来受診をされたうえで体験ショートステイをしていただく必要がありますので、まずは療育指導室長までお問い合わせ、またはご連絡ください。

TEL. 053-583-3111(代) 療育指導室長 桑原

各科の紹介【呼吸器・アレルギー科】

新年や誕生日に「禁煙」や「減量」を目標に掲げる方、大勢いらっしゃると思います。でも次の年も「今度こそ」という方も多いのではないのでしょうか。タバコがやめられない理由は、「ニコチン」に対する身体的依存(いわゆる「ニコチン中毒」と喫煙が習慣となつて心理行動的に依存しているため)、タバコの依存性はアルコールより強く、麻薬のヘロインと互角といわれています。「ニコチン依存症」は薬物依存で、治療を要する疾患と認識されています。
タバコに火を点けたらその場で爆発するのであれば恐ろしくて火を点ける人はいないでしょう。でも、後々「様々な病気」として爆発するのを認識した上で火を点けていますか?タバコの煙には200種類以上の有害物質が含まれています。ニコチン、酸化炭素、タール等に含まれる約40種類の発がん物質、アンモニア等の刺激性ガスです。タバコは「毒物の缶詰」、タバコの先に火を点せば、目には見えない長い長い導火線にも火が点いて、その先は多くの疾患につながっているのです。タバコを1本喫うと寿命が5分30秒縮まるといわれています。20本だと約2時間です。でも単純な計算では済まないのです。多くの病気に罹り、長い闘病生活を送ることになり「健康に生活できる健康時間」はもつと短くなるのです。
でも、「ニコチン依存症」は「再発しやすいけれども繰り返し治療することで完治しうる慢性疾患」とも言われています。当院では禁煙外来等で禁煙をサポートしています。ご相談お待ちしております。



呼吸器アレルギー科医長
金井 美穂

「ニコチン依存症」という病気

